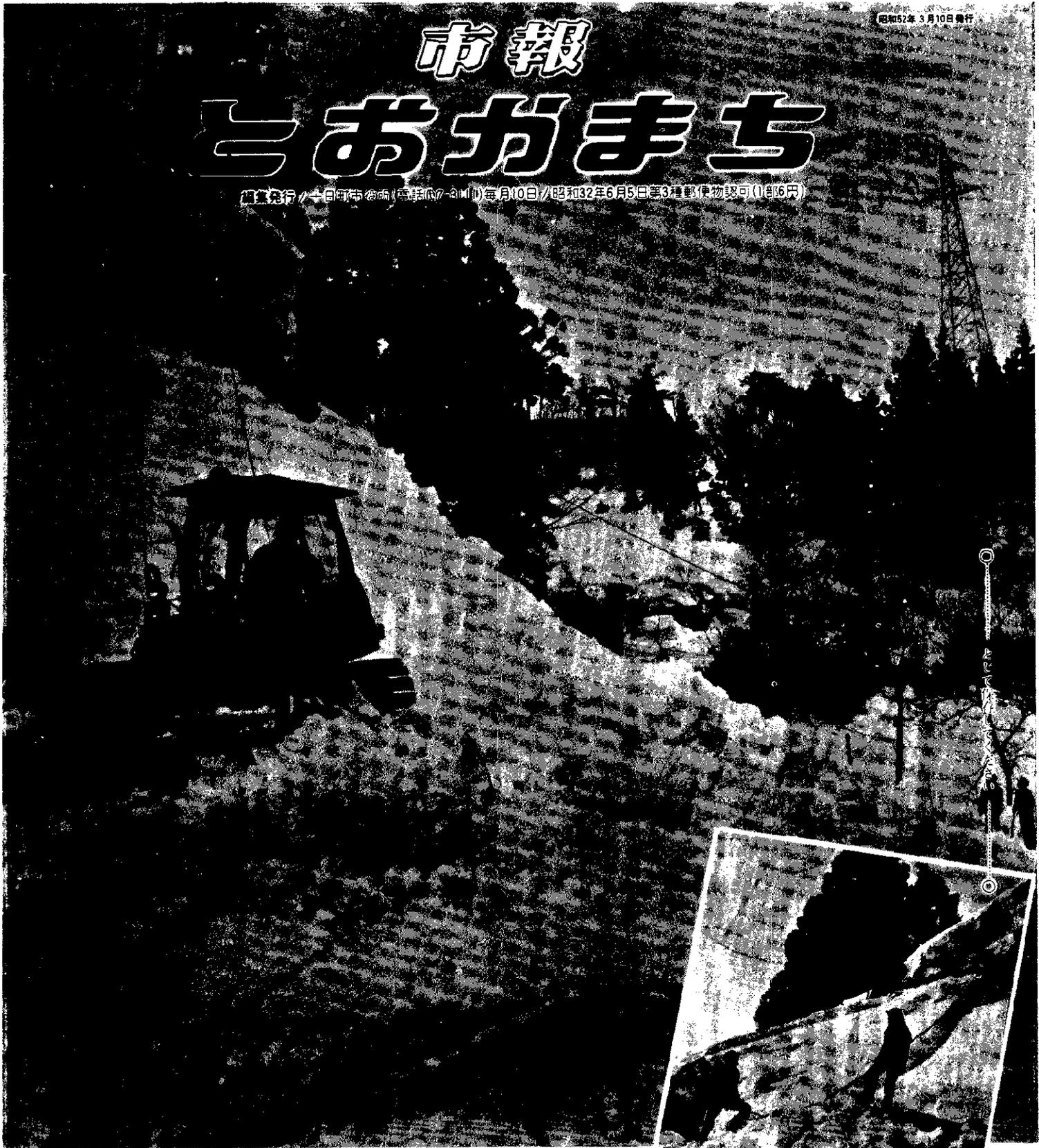


市報 とおがまち

編集発行 十日町市役所(電話07-3111)毎月10日/昭和32年6月5日第3種郵便物認可(1665円)



雪び落しにワイヤー作戦

気温の上昇に伴い、山間地はいま各所にナダレの危険が
 いっぱい——。このため、市豪雪災害対策本部と雪害対策室
 では、ナダレ事故を未然に防ごうと、この冬はじめてブルドーザ
 とワイヤーによる雪び落しの実験を行い、威力もあり、効果的
 であるという結果が示されました。今後さらに危険箇所
 の検討とともに、この方法による雪び除去作戦を展開することに
 しています。

(2月25日・吉田樽沢地内の実験)

3/10
March

□245号□

昭和52年度 予算案を審議

みなさんが、健康で安全で幸せな暮らしを送っていただくため、やらなければならない仕事はたくさんあります。今年度、どのように市の仕事をすすめていくのかを決めるのが、当初予算です。

一般会計総額57億九千六百万四千円

市議会第一回定例会は、去る三月四日から開かれ、昭和五十二年年度予算案を審議中ですが、今月は昭和五十二年年度予算案のあらましをお知らせします。

昭和五十二年年度の一般会計は、五十七億九千六百万四千円(昭和五十一年度当初予算額は四十六億六千七百一十一万四千円)と前年度当初予算にくらべ二十四・二%増となりました。赤ちゃんならからとよりまで市民一人あたりに換算すると、十一万四千四百十六円の予算規模です。これから、一年間わたしたちの暮らしとまちづくりはどう生かされるのか見てみましょう。

昭和五十一年度とすでに二年間の経済不況が続き、さらに、五十二年の景気回復が

道路・教育・福祉を三本の柱に

本年度の重点施策は、前年に

引き続き、道路交通の整備、教育文化の向上、福祉行政の推進を予算編成の基調とし、財政状況を十分勘案しながら、一般経常費を極力抑えて建設事業の実現をはかりました。

投資的経費は、十八億七千七百五十九万四千円(前年は十二億九千四百三十一万六千円)を計上し、前年より四十五・一%の増となりました。これは、予算全体の三十一・四%(二十七・七%)をしめています。

一般経常経費を抑制

一般会計の歳入面をみますと、別表のように歳入総額の二八・三%をしめる市税は、十六億四千三百二十四万一千円で、前年にくらべ十七%の伸びをしめています。地方交付税は十四億七千万円で前年にくらべ八・九%の増となりました。また、国県の補助金が大きくなっていますが、歳出面で見られる学校、博物館等の関連計上で多額の出費のうえに立つものであり、また、

都市計画街路事業(新座落)などが大きく、消雪パイプ布設も四ヶ所(継続一、新規三)計画されています。このほか、特別会計では、下

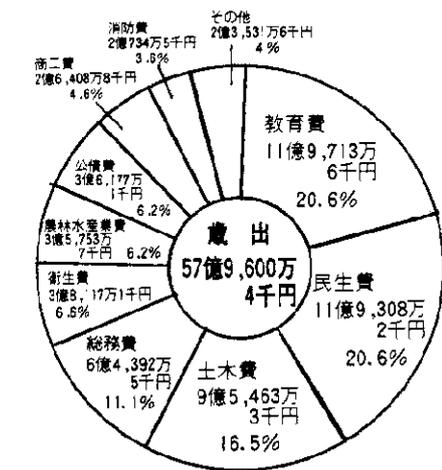
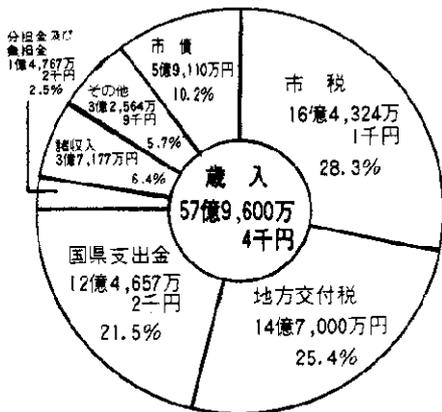
中条中学校を改築(第一年次)

別表のように教育費が十一億九千七百十三万六千円と歳出のトップにたちました。これは、南中・中条中増改築工事、大池小・飛一小池谷分校改築工事、小中学校修繕工事、貯油タンク、プール建設事業、市民体育館室根修繕工事、市民総合グラウンド造成工事などのほか、下条地区公民館の建設、信濃川河川敷を利用したスポーツ・レクリエーション広場造成事業(第二

保育所を建設

次)等があり、また、昭和五十年年度建設の郷土資料収蔵庫に引き続き博物館の建設を実現したいものと考え、すでに文部省あて陳情を繰り返して来ているが、何とかして、国の補助を得て着工の実を得たいとしています。

民生費では、十一億九千三百八十二万二千円と歳出の二一・六%をしめています。



52年度予算案を審議

市議会第1回定例会は、去る3月4日から3月18日までの会期で開会されています。審議中のおもな議案は、昭和52年度一般会計予算案、特別会計予算案のほか、昭和51年度一般会計・特別会計補正予算、市道の認定について、市政事務嘱託員設置条例等の一部改正条例、市奨学金貸与条例の一部改正条例、理科教育センター設置条例、市営住宅条例の一部改正条例、国民健康保険条例の一部改正条例などです。

昭和51年度の一般会計補正予算では、歳入歳出それぞれ864万2千円追加し、歳入歳出予算総額を50億8,836万1千円とするものです。歳出のおもなものは、市道除雪圧雪委託料追加、除雪圧雪機械借用料追加、広域事務組合負担金追加、除雪人夫賃金追加などです。

市道改良舗装を重点

土木費は、九億五千四百六十三万三千円で、市道の改良舗装等道路新設改良費を増額したほか、河川改修、橋梁改良工事や都市計画街路事業としての新座線改良工事、また、十日町公園、妻有西公園の造成など市民のい

このほか、身障者福祉費、母子福祉費、生活保護費、児童措置費等です。

主なものは、児童福祉関係で、北原保育所の建設、私立保育園建設補助金、市立保育所修繕工事等があり、老人福祉として、老人の能力をいかした生きがいを創造し、老人の孤独と疎外をなくしようと老人生きがい対策事業(第二次)を行うほか、敬老祝金、ねたまり老人見舞金支給、老人医療費、老人医療費助成事業などを実施します。

林道等を整備

農林水産業費は、苗場山ろく開発推進事業として、千六百三十六万八千円。そのほか、土地改良事業、ほ場整備事業、国土調査事業、特定農山村振興特別対策事業費、県農林水産業振興事業費、団体営農道舗装工事、林業振興のための林道開設費等となっています。

商工業の振興に

商工業関係では、商工業者へ

この場づくりを行う予定です。特に、除雪、防雪施設整備等雪害対策関係では、消雪パイプ布設を四ヶ所計画し、除雪機械購入、小型雪上車購入、除雪圧雪機械借用料、雪害関係渠工事負担金、雪害修繕工事等となっています。

吉田集会所を建設

農林水産費関係では、苗場山ろく開発推進事業として、千六百三十六万八千円。そのほか、土地改良事業、ほ場整備事業、国土調査事業、特定農山村振興特別対策事業費、県農林水産業振興事業費、団体営農道舗装工事、林業振興のための林道開設費等となっています。

融資の道を開くため、産業界成資金、中小企業振興資金貸付金、商工組合中央金庫預託金など二億一千二百万円を計上。そのほか、アーケード施設補助金、信用保証協会保証補助金、雪まつり委託料、魚沼スカイライン負担金、商工関係負担金及び補助金等が主なものです。労働費関係では、勤労者の住宅資金として、労働金庫預託金を計上しました。また、勤労青少年ホーム防水工事等も予定しています。

閑浅地区に簡易水道

特別会計の主なものでは、簡易水道特別会計で、閑浅地区簡易水道の建設を予定しています。また、下水道事業特別会計では、三億四千七百二十万円を計上し、下水道事業は、いよいよ本格的工事の段階に入ることになります。国民健康保険特別会計では、総額十一億五千三百七十七万三千円となりましたが、主なものは、療養給付費、保健婦設置費等となっています。診療所特別会計予算案は、総額三千五百八十四千円となりました。

上水道井戸の水位は徐々に回復し始めました

年末以来の異常寒波による水道水源の取水低下のため、上水道利用のみならず大変ご迷惑をおかけしました。みなさんがたの節水協力により、なんとか全面断水はしないで済みました。長い間のご協力に感謝申し上げます。特に高台の方々には大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。最近、好天にも恵まれ、徐々に水位が上がりますが、ようやく水位が上がってきました。例年より十日くらいおくれでいるようです。完全回復はまだ相当の日数がかかる見込み

| | |
|--------|----------------------|
| 平常時 | 16,000m ³ |
| 12月31日 | 15,423m ³ |
| 1月9日 | 15,002m ³ |
| 1月20日 | 14,065m ³ |
| 2月7日 | 13,009m ³ |
| 2月21日 | 11,920m ³ |
| 2月25日 | 12,481m ³ |
| 2月26日 | 12,712m ³ |

防火避難施設等の再点検を

十日町土木事務所は、市役所建設課、十日町地域消防署と共催で建築物防火指導週間にちなみ、つぎのとおり建築物防火指

導査察及び建築物防火相談所を開設します。

これは、全国的に風俗営業の複合用途建築物、病院等火災事故がひん発し、多数の人命が失われていくことから、今回特に特殊建築物(不特定多数の使用する建築物)の避難施設を重点に防火査察を実施します。

管理者等におかれては、この週間に機会に防火避難施設及び管理状況の再点検をお願いいたします。

査察日 三月十日
土木事務所、市役所、消防署の職員がまわります。

建築物防火相談所を開設
三月十二日午前中
場所 土木事務所

差し出したあとも
あて名変更ができます

郵便物を差し出してから、あて名が間違っていたとか、内容が間違っていたため取り戻したい場合は、あて名変更または、取り戻しの請求をすることができます。

郵便物を返してもらう場合には、いったんポストに入れたものは、たとえ入れた直後でもその場でお返しできませんので、必ず郵便局で手続をしてください。
なお、取り戻しの請求は、すでに配達されたものではできません。(十日町郵便局)

昭和51年工業統計調査結果

| 産業分類 | 事業所数 | 従業者数 | 出荷額等 |
|------|-------|-------|-----------|
| 総数 | 2,336 | 9,610 | 8,283,889 |
| 食料 | 25 | 210 | 121,790 |
| 繊維 | 2,223 | 8,495 | 7,457,936 |
| うち出織 | 1,615 | | 65,711 |
| 衣服 | 6 | 48 | 13,596 |
| 木材 | 27 | 116 | 49,584 |
| 家具 | 12 | 82 | 36,580 |
| 紙 | 3 | 16 | 5,250 |
| 出版 | 6 | 79 | 30,515 |
| 窯業 | 6 | 93 | 118,983 |
| 金属 | 2 | x | x |
| 機械 | 15 | 279 | 138,966 |
| 電気 | 3 | 81 | 8,996 |
| 輸送 | 3 | 79 | 71,175 |
| 精密 | 1 | x | x |
| その他 | 4 | 14 | 2,935 |
| xの合計 | | 18 | 227,583 |

(注)

- ①この表の数値は、概数のため、後日、国県で公表される確定数とは、必ずしも一致しないことがあります。
- ②「x」は、1~2の事業所数であるため、秘匿したものです。
- ③2つ以上の産業分類に出荷額等がある事業所については、おもな製造品、加工品で格付けし、その合計額を集計しましたが、一部分離してxの合計に含めたものもあります。
- ④休業中の事業所は、集計の対象から除外しました。

出荷額等総額八百二十八億四千万円

昭和五十一年工業統計調査結果(概数)

昭和五十一年十二月三十一日現在で行われた本市の工業統計調査の概数がこのほどまとまりました。(別表)

市内の昭和五十一年の事業所数は、総数二千三百三十六となりました。これは、昭和五十一年にくらべ六十事業所の減で、おもに繊維関係の出ばたの減少が目立っています。

従業者数については、九千六百八十人で、昭和五十一年より、四百九十八人減少しました。出荷額等(加工賃収入、修理料を含む)についてみると、総額は約八百二十八億四千万円となり、昭和五十一年と比較して二十八億一千万円(三・五%)の

伸びの増となりました。

このうち、本市の主要産業である繊維産業の出荷額は、七百四十五億七千九百三十六万円となりました。これは、昭和五十一年にくらべ、三十一億六千万円(四・四%)の伸び増加したことになります。

また、繊維関係が市内の工業全体に占める割合についてみると、事業所の九五%を繊維関係で占めており、また、従業者数の八八%、出荷額等の九〇%を占めております。このことから、本市の工業は繊維関係で占められていると同時に、この繊維関係の増減が

本市産業全体の姿であるともいえます。

林業経営に林業資金の活用を

このほど、林業改善資金助成法に基づき、つぎの制度が創設されましたので、林業従事者で希望される方は森林組合七一八八三番へご相談ください。

■安全生産施設資金：チェーンソーの購入に。

■貸付基準
一、現に使用中のチェーンソーの買い換えであること。
二、防振装置付。

■貸付限度額：一台十八万円。償還期間：五年以内(据置期間二年、利子無し)。

■団地間伐促進資金：間伐を行うための作業路の開削、もしくは改良。または間伐を行うための資金に。

貸付基準：二十年生、三十年生の株分の間伐をおおむね五分以上とめて実施すること。

■貸付限度額：一畝当たり二十五万円。償還期間：五年以内。据置期間無し。

利率無し。

転居されたら

郵便局へも転居届を

三月は、入学、就職、転勤などで住所が変わる方が多い時期

補助造林特別優遇制度の「利用を

地域ぐるみで、一定面積の植林を、森林組合に委託すると大変有利です。つぎの団地造林制度をご理解のうえ、ご利用ください。

■実施条件
千五百坪の区域内で、数人の

です。住所が変わる場合は、市役所市民課へ転居・転出届をしていただきますが、郵便局へも転居届をされると便利です。「転居届」の用紙は、郵便局の窓口にあります。この転居届を郵便局へ出しておきますと、一年間は新しい住所へ郵便物を転送します。なお、転送する場合の料金は、普通郵便物は無料ですが、書留や小包郵便物あるいは速達郵便物は、料金がかります。(十日町郵便局)

農業者転職訓練生を募集

新潟県では、つぎのとおり、昭和五十二年農業者転職訓練生を募集しています。

■該当者 ①農業構造の改善に伴い、農業以外の産業へつこうとする人。②現在農業に従事している人及び公共職業安定所に求職申し込みをし、又は公共職業訓練施設に入校申し込みをする前一年以内に農業に従事していた人。③日雇労働者、パートタイマー等他に安定した職業についていない人。

■訓練科 新潟高等職業訓練校 新発田校(園芸科、縫製科) 上越高等職業訓練校(建築科) 三条高等職業訓練校(溶接科) 十日町高等職業訓練校塩沢校(織布科) 柏崎専修職業訓練校柏崎校(縫製科) 魚沼専修職業訓練校六日町校(縫製科、給食科) 申し込み等 入校の手続き等くわしくは職安または市農業委員会へ。

へぎ地校にTP奇贈

北ロータリークラブが、去る二月二十三日、名ヶ山小と東下組小の二カ校に教材備品として、TP(トラベンアップ)十三万円相当をそれぞれ寄贈されました。

市農委が出稼ぎ就労先を訪問 畑作先進地も視察

冬場、家族のもとを離れて県外へ出稼ぎに行かれる方は、市内に約七百人おられます。これら

出稼ぎ就労者との懇談会
(2月24日、東京都内で)

飲酒運転の防止を 交通事故対策懇談会を開催

十日町警察署は、去る2月24日、警察署会議室で市交通指導員、非常勤交通指導員、安協役員、老人交通安全推進員、市町村役場交通担当職員約50名と交通事故対策懇談会を開きました。席上、署管内の交通事故発生状況と指導取締り状況の説明があり、今後の事故防止対策が話しあわれました。

管内の交通事故の発生状況は、昭和46年をピークに減少している。これは交通安全運動を通じ、みんながそれぞれの立場から交通事故防止を図ってきた結果があらわれたものと考えられるが、しかし、まだ幼児のとび出し事故13件、老人の横断事故11件、二輪車事故が49件も発生している(昭和51年)。指導取締り状況は、告知(反則青キップ)が3,342人、検挙が805人にものぼっており、このうち、飲酒運転によるものが377人にもなっている。

今後の事故防止対策としては、飲酒運転防止を中心に、違反取締りを実施すると同時に右側ハミ出し禁止規制等交通規制を強化し、交通事故防止の徹底をはかることにしています。また、幼児、婦人、老人の安全指導と「一声運動」を通じ家庭内の交通安全意識の定着、ドライバーの人間教育、優良運転者褒賞、事故にあわないためのホテル(夜光反射テープ)作戦の実施等が話し合われました。

の人たちのなかには、毎年同一職場で働き、誠実と信頼をかわれ、職場のリーダーとして元気に働いているかたもたくさんいます。市農業委員会では、毎年出稼ぎ就労先訪問を実施してきましたが、ことしは、去る二月二十四日から三日間、池田助役ほか二名の職員が東京、神奈川方面に就労している出稼ぎ者を訪問し激励しました。一行は、新興ビルサービス(備後六六)の事業所を訪れ、約百人の就労者と懇談、ふるさとの話題、農業対策、安全就労などを話しあいました。出席者たちからの質問は、おもに豪雪の状況、雪消えの遅れによる苗代対策と昨年に続

く冷害対策等に集中。池田助役からは、出稼ぎ期間中の事故防止や健康に十分注意して欲しいとの呼びかけがありました。
先進地視察も
ことしも、就労先訪問と合わせ、二月二十七日出稼ぎ者を対象とした畑作先進地視察を実施しました。これは、就労期間中に営農に役立つものを勉強し、帰郷後の参考にしようというもので毎年参加希望者が大勢います。今回は、約五十名が貸切バスで三浦市農業協同組合を訪れ、三浦市特産の大根、キャベツの栽培と経営状況を視察。みごとに

生育した大根の出荷作業や大型ハウスによる育苗施設でスイカ等の育苗作業を見学し、農協の生産技術の指導と集約した農業経営を熱心に学んできました。

住宅建設の公的資金融資制度説明会を開催

農土木部建築住宅課は、つぎのとおり住宅建設に伴う公的資金の融資説明会を開きますので、希望者はおいでください。
開催日時及び場所

三月二十二日(火)午後一時半から四時半 北越銀行本店二階ホール(長岡市大手通り二丁目) 三月二十三日(水)午後一時半から四時半 新潟市中央公民館(新潟市西大通六番町)

説明内容

①個人住宅建設及び改良資金貸付けについて ②分譲住宅貸付けについて ③社宅、寮、店舗付住宅、賃貸住宅建設資金貸付けについて ④の説明は新潟会場のみ

農業用軽油免税証を交付

農業用軽油免税証の交付を、つぎのとおり行います。該当される方は、忘れずに受けてください。
とき 昭和五十一年三月二十五日(金)午前九時から午後四時まで。

ところ 十日町財務事務所(市内妻有町西二総合庁舎内)

必要書類 ■印鑑(共同申請の場合は、全員の印鑑が必要) ■免税軽油使用者証 ■耕作面積証明書(市農業委員会で証明を受けてください) ■使用機械の証明書(所有証明、借用証明) または納品書等の写(機械の製作所名、名称、型式、馬力、燃料消費量等記入する必要がある)ので、カタログを持参してください。

その他 申請用紙は、十日町財務事務所にあります。不明の

点は市役所農林課または十日町財務事務所へお問い合わせください。

特別弔慰金の請求は早めに

昭和五十年特別弔慰金支給法一部改正による特別弔慰金(十年償還二十万円)の請求は、すでに大部分の方が請求を終わり、その半数の方が国庫債券を受領されております。この請求は昭和五十三年三月三十一日をもって、時効完成となり、この日以後は請求することができません。該当する方まだまだ請求手続きをしていない方は、早めに市社会福祉事務所へお申し出ください。
特別弔慰金の支給
これは、昭和十二年七月七日以後の戦没者の遺族で、昭和五

調栽培講習会を開催
市農業委員会では、つぎのとおり調栽培講習会を開催します。当日は、地元農業者の体験発表、園芸機械展示会等の開催が予定され、また、備材を用いた講習会が実施されます。
開催日時 三月二十五日(金)午前九時から午後三時半まで
場所 市民会館

電話教室を開催

毎日の生活には、もはや電話は欠かせないものとなりました。しかし、電話にも正しいかけ方、うけ方、エチケットがあります。上手に電話を使うために十日町電報電話局では、ダイヤル電話教室を開催します。お気軽にご利用ください。くわしくは、十日町電報電話局(二二三三七〇番)へお問い合わせください。

税務署からお知らせします

今回の大雪で災害を受けたり通信交通がと絶えるなどで所得税の確定申告期限や納税期限などについてお困りの方は、十日町税務署(二二三二八八番)か税務相談室へおたずねください。

国民年金と私たち

年金と負担について

国民年金は、年々その内容が改善されており、現在では、他の年金制度と比較してもあまり見劣りしないものとなりましたので、私たちの老後は大変心強くなったこととなります。

しかし、国民年金の保険料を他の年金制度と比較すると、半分以下の低い保険料となっていますが、これは、国民年金には他の年金制度には見られない高い国庫負担がなされていることや、今まで年金受給者が少なかったこと、あるいは、加入者の負担が急激に増えることを避けることから、低く抑えてきたことなどによります。

また、だれしも「少ない負担で多くの年金」を望むところでありますが、いかに充実した年金となっても、裏付けとなるものが、安定していなければ、それは「絵にかいたもち」に終わってしまいます。そのような事態にならないために、私たちは年金の給付に見合う保険料の負担を行う必要があります。もし、それを怠れば、そのツケは後代の人々に引き継がれ、ますます大きな負担を強いる結果となりましょう。このような身勝手を後代の人々は納得してくれるでしょうか。そこで、国民年金保険料は、今年の4月から1カ月2,200円に改められますし、以後も毎年、段階的に引き上げることになっていますのは、いうまでもなく健全な国民年金財政を確立して、生活できる年金をいつまでも確保しようという考えによるものです。

年金制度は、世代間相互の理解と協力があって始めてなりたつものですから、私たちは信頼と愛情をもってこれを見守ることが大切ではないでしょうか。

将来、あなたの年金をよりよくするために一層のご理解とご協力をお願いします。

国民年金についてのお問い合わせは、市役所市民課国民年金係(☎7-3111番)へどうぞ。

新潟県交通災害共済にご加入を

申し込みは三月三十一日まで

交通事故ゼロの願いもむなしくなかな事故は減りません。恐ろしい交通事故は、どんなに注意しても、いつどこであなたやご家族の身にふりかかってくるか知れません。新潟県交通災害共済制度は、万一の事故に備えて、一日一円の安い掛金でお互い助け合う制度です。市では、この交通災害共済の加入者を募集しています。

いま加入している人も三月三十一日で共済期間が終わりますので、忘れず継続のための手続きをしてくださいます。

会員の資格
市内に住所のある方は、年齢に制限なくご加入できます。

会費等 一人年額 三百五十円
大人も子どもも同額で一人一口のみ、共済期間は四月一日から翌年三月三十一日までです。四月一日以後に中途加入した場合は、会費納入日の翌日から翌年三月三十一日までとなります。会費は四月一日以後に加入する場合も同額です。

加入申し込み方法
加入申し込み書に会費を添え、嘱託員(隣組長等)が取りまとめる町内は嘱託員へ、嘱託員が取りまとめるしない町内は、直接市役所環境課か市農協各支所市内各銀行(労金を除く)へ申し込み込んでください。

万一、事故にあわれた場合はつぎのとおり、見舞金が支給されます。見舞金の額は昭和五十二年より引き上げられ、死亡の場合の七十万円を最高に治療の程度により九等級の一万円まであります。

見舞金は

| 等級 | 災害の程度 | 金額 |
|------|---|-----------|
| 1 等級 | 死亡した場合 | 700,000 円 |
| 2 等級 | 自賠責施行令別表の等級区分の1級各号に掲げる傷害の場合 | 400,000 円 |
| 3 等級 | 治療を要した期間が6月をこえ、かつ、入院30日以上を含む実治療日数90日以上のもの | 130,000 円 |
| 4 等級 | 治療を要した期間が5月をこえ、かつ、入院21日以上を含む実治療日数75日以上のもの | 100,000 円 |
| 5 等級 | 治療を要した期間が4月をこえ、かつ、入院14日以上を含む実治療日数60日以上のもの | 80,000 円 |
| 6 等級 | 治療を要した期間が3月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数45日以上のもの | 60,000 円 |
| 7 等級 | 治療を要した期間が2月をこえ、かつ、入院3日以上を含む実治療日数30日以上のもの | 45,000 円 |
| 8 等級 | 治療を要した期間が1月をこえ、かつ、入院3日以上を含む実治療日数15日以上のもの | 30,000 円 |
| 9 等級 | 入院・通院の実治療日数7日以上のもの | 10,000 円 |

た日から一年を経過した場合、病院で治療した日が七月未満の場合等は見舞金が支給されません。

昭和52年度 成人式のお知らせ

今年成人式を迎えられるみなさんおめでとうございます。本市では、昭和五十二年成人式をつぎのとおり行う予定です。市公民館では、成人該当者を対象に成人式の案内ハガキを発送しましたが、案内もれの方がおりましたら十日町市公民館(☎七-一五〇-二番)へご連絡ください。

なお、二十歳の記録募集、新成人講座、新成人祭を前後して行いますので、ご参加ください。とき 五月八日(日)午前十時～正午

ところ 市民体育館
該当者 昭和三十一年四月二日～三十二年四月一日生まれの本市在住者です。

20歳の記録原稿募集

市公民館では、新しく成人される方を対象に「二十歳の記録」原稿を募集します。新成人者昭和三十一年四月二日～三十二年四月一日生まれの本市在住者はふるってご応募ください。

テーマ
自分の体験や考えをもとに、

つぎのテーマの中から選んで書いてください。■わたしの青春 ■わたしの仲間 ■わたしの職業 ■働きたら学ぶ ■親から学んだこと ■わたしの結婚観 ■初めて選挙権を得て ■農業を考える ■織物を考える ■雪害を考える ■わたしの訴えたいこと ■詩「二十歳」。

枚数
四百字詰原稿用紙五枚以内、タテ書き、一人二篇まで。

締め切り
三月三十一日まで。
宛先 十日町市公民館(学校町七-一五〇-二番)「二十歳の記録」係。
その他
文章の上手下手でなく、自分の本当の声を正直に書いてください。また、原稿の初めにテーマ、氏名、住所、職業を明記してください。

原稿は、すべて文集「二十歳の記録」におさめ、式当日全員に配布します。応募者全員に記念品をさしあげます。

